



広報誌

WINTER

か・け・は・し

こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

ホームページ

<http://www.oikawahp.or.jp>

Eメール info@oikawahp.or.jp

NO.52 2024年01月 発行



撮影地：当院3階中庭

院長挨拶

及川 達司

Oikawa Tatsuji

新年あけましておめでとうございます。

2023年の漢字は『税』でした。減税、増税、なんとかメガネとか、いやはや確かに一年を通してこの漢字を見なかった日はありませんでした。濁音から始まるこの文字に爽快感はありません。それがその年を代表する漢字とは、少し悲しい気もします。2014年にも同じ漢字が選ばれています。消費税が5%から8%に引き上げられた年でした。良くも悪くもそれだけ私たちの生活に直結しているという事です。

税金なしでは国は成り立っていきません。

税金を使ってこそ様々な為政がなされ生活が潤っていくはずなんです。

しかし今年この文字が選ばれた背景には納得感や期待感はなく「どうして？」という

疑問が多かったように思います。何か事を起こそうとすれば、必ず反対する者もいます。

全員が「イエス」なんてありえません。しかし信念という思いを言葉で相手に伝え、分かってもらおうとする行為は必須です。これだけ政治不信に陥った原因の一端は、それがなかったことにあるように思います。それは医療の世界においても同じです。患者さんと医療者との信頼関係がすべての土台であり、それをお互いで構築していくには思いを通じ合わせなければなりません。真摯な姿勢、分かりやすい言葉、それを常に心掛けていきたいと思えます。

一年を表す漢字はみなさんそれぞれで異なってもいいでしょう。

楽しい事、嬉しいことが心に残ったなら「楽」や「嬉」、新しい家族が出来たら「生」、大谷 翔平選手の活躍に支えられたなら「翔」。

さあ、今年のあなたの漢字は何でしょうか？

オレンジバルーン チーム

今年は「及川サロン」と「おいかわカフェ」を開催しました。及川サロンでは「ネイルケアで笑顔に」をコンセプトに、乳腺科の入院患者さんを対象として普段のネイルケアや抗がん剤によって変化した爪のケアの講習会を実施しました。9月9日は8名、9月30日には7名の参加がありました。参加された患者さんみなさんが笑顔で体験してくださり、「気持ちが明るくなった」「かわいいアイテムを見て気分が上がりました」「他の患者さんとの交流や同じ病気の話なども出来て良かった」などうれしい感想をたくさんいただきました。

～及川サロン ネイルケアのようす～



開催日

9月9日(土) 9月30日(土)



～おいかわカフェ 緩和ケア講座のようす～

おいかわカフェは9月10日に開催し、参加者は8名でした。講座では、「緩和ケアはいつから始まるのか」「どんなことをするのか」「誰が対象になるのか」などをお話しました。「緩和ケア」についてどう思うかをお尋ねしたところ、最初は「終末期医療」や「あまり良い印象を持っていない」というお答えでしたが、この講座終了後には「イメージが変わった」「たくさんの人に知って欲しい」など、緩和ケアに対する考え方が変わったという声が多く聞かれました。



開催日

9月10日(日)

「緩和ケアを正しく知って欲しい」という開催目的を達成できたと思っています。2年目となったオレンジバルーン啓発活動は、昨年の当院職員への啓発から、患者・院外へと活動場所を広げ、初の試みで講座を行いました。大きな反響がありました。少しずつではありますが、「緩和ケアについて」知る人が増えてきていると感じます。今後も、「知って頂ける機会の提供」を続けていきたいと思ひます。

ピンクリボン チーム

～福岡銀行様向け 乳がん講座のようす～



開催日

10月20日(金)

今年度のピンクリボン月間は「今の行動で未来が変わる 受けよう乳がん検診」をキャッチコピーとし、26名のメンバーが日曜検診チーム、企業への関わりチーム、情報発信チーム、六本松クリニックチームに分かれて乳がん検診啓発活動を行いました。近隣のお店や他医療機関にもご協力を頂き、例年ご好評いただいている日曜検診のチラシを設置して頂くことで、本院と六本松クリニックで実施した日曜検診には、合計33名の方に来院して頂くことができました。また、今年度初めての試みとして、福岡銀行平尾支店様へ向けた乳がん検診講座を開催し、女性のみでなく男性に向けても乳がん検診の必要性をPRすることができました。今回の活動を通し、職種を超えてみんなで一つの病院イベントとして活動する事の大切さを学びました。また、乳腺専門病院として改めて乳がん検診の必要性を多方面からアピールすることができ、この企画をきっかけに乳がん検診率の向上につながる一助を担えたのではないかと感じました。今後も、乳がん検診率向上を目指し活動を続けていきたいと思ひます。



～ピンクリボン期間中の 当院の装飾～

2023.10月1日～10月31日

第21回日本乳癌学会九州地方会に参加しました

がん化学療法認定看護師の和田です。

今回9月30日、10月1日に行われた第21回日本乳癌学会九州地方会に参加し「コロナ禍における当院の乳がん検診啓発の取り組み」について発表しました。私たちが住む福岡の乳がん検診率は、全国平均の47.4%を下回る状況です。新型コロナ感染が流行した年の2020年5月は、当院では通常の1/3まで検診受診者が減りました。検診率の低下は乳がん生存率に影響することを懸念し、当院ではがんに関わる啓発活動として、まずは病院スタッフの乳がん検診受診状況を調査し職員健診に追加しました。

また、3月AYA世代、5月母の日、9月オレンジバルーン、10月ピンクリボンのグループに分かれ、SWOT分析を実施し、各グループで啓発活動を考え実行した様子などを発表しました。今後も、乳腺専門病院ができる事を職員全員で考え啓発活動に取り組んでいきたいと考えます。



がん化学療法認定看護師

乳腺科病棟師長 和田 久美子

大野 真司先生の診療が始まりました



大野 真司先生

2023年9月から毎週金曜日に外来診療（診断、フォローアップ、薬物療法、セカンドオピニオンなど）に携わっています。これまでは月1回土曜日のセカンドピにオン外来だったので、より多くの患者さんを診させていただいています。

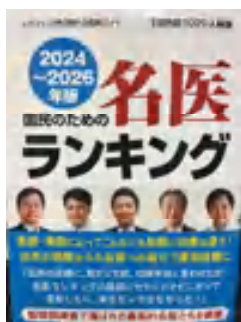
2015年に国立病院機構九州がんセンターからがん研究会有明病院に異動し、副院長・乳腺センター長として乳がん診療とともに医療安全や院内感染

対策の仕事を行ってきました。

がん研究会有明病院は年間の悪性疾患手術数が8,000例以上、乳がん手術が1,200例と、わが国で最多の症例数の施設で8年半の赴任期間中に担当した乳がん患者は10,000人を超えました。

最先端の施設で多くの患者さんを診ることができた経験を基に、より一層、一人一人の患者さんとのコミュニケーション、Shared decision makingなどを大切にしたチーム医療を推進していく所存です。どうかこれからもよろしくお願い申し上げます。

及川将弘先生が日本の名医に選ばれました！！

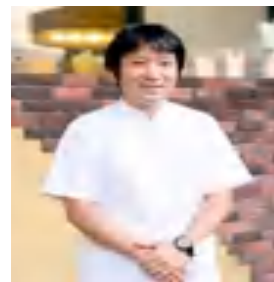


「乳がんに関する検診から診断、初期治療および再発治療、緩和ケアまでのトータル医療」としての診療を評価していただき掲載されました。

また、当院で1回/週 セカンドオピニオン等をしていただいている大野真司先生乳房再建術を行っていただいている矢永博子先生も掲載されております。今後も地域の皆さまに信頼してもらえる医療を提供できるよう、職員一同頑張っていきたいと思っております。

With you kyushu 2024 ～あなたとブレストケアを考える会～

With you Kyushu～あなたとブレストケアを考える会～は、乳がん患者さんと医療者が一緒に悩みや不安について考えることを目的にグループワークを行っています。今回はグループワークの申し込みが終わってしまいましたが、及川将弘先生の講演とインストラクターによるランチフィットネスがありますので、是非乳がん患者さんにお声掛けいただければと思います。



及川 将弘先生

2024年1月28日（日） 13:00～16:00 アミカス（福岡市南区高宮3丁目3-1）

- 13:00～14:10 グループワーク
14:30～15:00 講演「なぜ乳がんになるの？～乳がんと遺伝の話～」
15:15～15:45 「チャージングに10分ランチフィットネス」



参加費：500円（ラクロスボール付）

（会の情報はこちらから）

ボジョレーイベント

及川病院恒例のボジョレーヌーボーイベントを今年も開催しました。談話室には可愛いクリスマスツリー、ガーデンには綺麗なイルミネーションで雰囲気のあるイベント会場でしたが、感染予防の観点から今年も自室での飲食となりました。今回も多くの方に足を運んでいただき、患者様からは「及川病院ではボジョレーヌーボーが飲めると聞いたんですが本当だったんですね!」との声がありました。ワインの他にマスカットティーもご用意しましたが、「すごく美味しい」とこちらも好評でした。



令和6年2月に電子カルテを導入致します

電子カルテの導入を2月に予定しております。電子カルテとは今迄紙カルテに記載していた内容や検査結果等を電子データ化し運用するシステムです。電子カルテにすることにより、業務の効率化、カルテ管理の簡略化、検査データ等の院内共有化、ペーパーレス化によるゴミの減量等期待されます。患者様におかれましてもご本人確認方法等従来の方法からの変更も一部予定されております。ご協力の程、宜しく願いいたします。



乳腺外科 緩和ケア内科

〒810-0014

福岡市中央区平尾2-21-16

Tel:092-522-5411

Fax:092-522-6244



乳腺外科

〒810-0044

福岡市中央区六本松4-2-2[六本松421]2Fクリニックゾーン

Tel:092-406-8172

Fax:092-406-8182